

地域の子どもたちを対象とした企画、遊び場の提供

社会福祉法人 東京恵明学園

1.法人・施設の概要

◇所在地

東京都

◇法人設立日

昭和21年

◇法人実施事業

乳児院…1箇所

児童養護施設…1箇所

◇法人の理念・経営方針

○ミッション

『応援します、子どもとその家族の「しあわせ」と「希望」』

○ビジョン

- ・児童福祉に貢献します。
- ・子育て支援のキーステーションを目指します。
- ・幸せな生活を送ることができるよう支援します

◇施設名

東京恵明学園児童部

◇施設種別及び利用定員

児童養護施設（定員：53名）

2.活動内容

◇活動テーマ

「たのしく遊び隊」

◇活動開始年

平成14年6月

◇活動の対象者

園内小学生、地元小学生を対象



実際の様子（上：そば打ち、下：スポーツ大会）

◇活動実施の背景、実施に至った理由

平成13年に新園舎を竣工。事業所に乳児院、児童養護施設を併設していることから広いホールを作ることができた。以前から「けいめいバザー」や「けいめいフェスティバル」などの地域交流事業は行っていたが、このホールやグラウンドを地域の方に有効に役立てられないかと考えてきた。

当時、小学校では完全週休2日制という制度の転換の時期であった。共稼ぎ世帯も多い中、保護者の方々の負担が軽減できないか、また、さらに東京恵明学園を知って頂く良い機会としていくために、ということで立ち上げることになった。事業開始当初は、地域交流事業という名称で行ってい

たが、平成 14 年度より「楽しく遊び隊」と名称を変え実施することにした。そして、実際の交流では、小学生の学園児童と小学校の友達との様々なグループとしての交流が有意義に展開してきた。

◇実施内容

毎月第 3 土曜日を開催予定日と定め、実施している。広報活動として、ホームページに掲載、敷地の内外にポスターを掲示、さらに学校で生徒に配ってもらえるようにピラを用意し配布、などを行っている。参加者は基本的には学園の子どもを含め 40 名くらいが活動できるものになっている。

スタートの段階では外部講師の方を招へいし、実施することもあったが、現在、年間 9 回のプログラムを 9 名の職員が一人ひとり具体的な内容を計画、立案し(子ども、職員、ボランティアそれぞれの動きを示し)、実行している。計画したプログラムが適当かどうかは、責任者と綿密な打ち合わせを行っている。

内容としては、インドア(工作、食べ物作り)やアウトドア(川遊び、野外炊事、スポーツ)など子どもたちが興味を持てるようなプログラムを考えて展開している。内容によっては、職員の人数も増やして取り組むことで、内容の充実や安全確保を行っている。

◇活動の効果

地域の子どもたちも学園の子どもたちも毎月この活動を楽しみにしており、リピーターの子どもも増えてきている。学校で案内のピラを配布していることで、地域にも「楽しく遊び隊」の活動が浸透し、安心して子どもを預けられることもあり、利用し

やすくなってきているように感じている。特に参加者の父母からは親子で参加したいとか、学園の様子が分かってよかったという声が聞かれている。携わる職員は、計画立案し、子どもだけでなくボランティアも巻き込んでプログラムを展開しており、そのことで自己研鑽する機会にも繋がっている。このことは日々の養育の場面でも活かされていると考えている。

◇今後の展開

最近、プログラム内容のダイナミックさに少し欠け、小さくまとまっているように感じている。今後、プログラムに対する要望やニーズについてアンケート調査を行ったり、子どもたちの声をさらに聞きながら取り組んでいきたいと思う。

また、携わる職員は、子どもたちの行動や会話からニーズを把握するように努めると共に、保護者の方々の声などにアンテナを張り、利用する子どもや保護者にとって満足のいくものにしたいと思っている。

さらに、単発のプログラムだけでなく宿泊を伴うものや、連続的なプログラムなどもあってもよいと考えている。

10 年以上続いているこの「楽しく遊び隊」を多くの方々に発信しながら、地域交流、地域の家庭支援となるように、さらなる充実するよう努力していく必要があると考えている。